

総合科学入門講座

「民主主義論」

5月19日

担当：饗場和彦

総合科学入門講座 (2017年5月19日)

「立憲民主主義－政治リテラシーの必要性」

総合科学入門講座の目標のひとつ：根拠に基づく合理的な考え方をもち、他者と対話し合意を形成する能力。これは民主主義の仕組みにおいても不可欠のプロセス。今日はこの民主主義をめぐる最も基本の観点を考える。とくに最近、この観点の重要性が増している。この観点とは？

→「政治リテラシー」の獲得

生協で食事しながら政治が話題にあがりますか。

いいえ。

「政治と宗教にはかかわらないほうが無難」と思いますか。

はい。

⇒だったら、どうなるか

「ゆでガエル」になってしまう

カエルを熱湯の鍋に入れると飛び出す
が、水の鍋に入れ徐々に加熱すると茹
で上がってしまう

「ゆでガエル」にならないためには、
危機をいかに敏感に知り、いかに果
断に行動できるか。

「政治リテラシー」があれば、この対
応ができる

「政治リテラシー」=政治に
対する関心、知識、行動力

まず、「政治リテラシー」
を身につけるうえで必要な、
前提の認識を持とう

⇒なにか(問1)?

次の、**沖縄にある祈念碑の碑文**を見て、何か引っかかる人は、この前提の認識に近い人。**どこかひっかかりますか。**

人と自然、人と人、人と社会の共生をめざして

戦後50年を記念して、のじぎくの塔苑地を改修し、改めて沖縄戦で犠牲となられた御霊のご冥福を心からお祈りいたします。

奇しくも本年、故郷兵庫では、阪神・淡路大震災が発生し、多くの尊い生命が失われました。戦争や災害による悲劇が二度と繰り返されることのないよう、人々が安心して暮らせる共生社会の実現をめざして、県民とあわせてたゆまぬ努力を続けてまいります。

兵庫県知事 貝原俊氏

映像をとおして考えます。
衝撃的な場面もありますのでその
心づもりで(しかしこれが現実。目
をそらしてはいけない)。

シリアやイラクにおける戦争の被害
東日本大震災の被害

どちらも惨状。しかし決
定的な違いは何か。

天災か、人災かの違い

**碑文「戦争や災害による悲劇」は両
者を一緒くたにしている**

←ここに引っかかったか？

戦争の被害と災害の被害を一緒に
たにとらえると、どうなるか

加害の主体は何か、それへの
対策は何か、を見失う

これを見失ったままなら、私たち
はまた惨状に苦しめられる

天災ならやむをえない。「大自然の前に無力な人間」という謙虚さを認識するしかない。

しかし**人災**は誰か「やったやつ」がいる。自然でなく、人間が招いたこと。であれば**避けようがある**。最もひどい人災はどのようにしてもたらされるのか（加害の主体は何か）（**問2**）。わたしたちは、どうしたら、あんな人災を避けるようにできるのか（**問3**）。

政治とは？

←答えにくい

地球上に1人しかいないなら政治はあるか

→ない

→複数の人がいると政治がある

→複数の人がいると利害がぶつかる

→政治とは社会における利害の調整・解決

リンゴの実が一つあってAさん、Bさんが取り合いに

→最悪、殺し合いに →社会で殺し合いは困る

→長老Cが止めようとする →どうやって？

- ① 分ける案を示す
 - ② その案を受け入れさせる
- } →村は平穏に

社会で平穏に暮らしたい →政治がいる

→政治が機能するには

→①価値の配分と、②権力がある。

では、この政治を誰がするのか？

政府が政治を行う

→ 国家としては首相や大臣らが行う

→ 彼/彼女らは神様でなく人間

→ 人間には無能な、邪悪な人もいる

→ 政治は価値の配分と権力。その国家権力が人間によって不適切に行使されたら...(映像)

この映像でわかること。A: 国家権力の強大さ(個人が暴れてもせいぜい死者は二桁。国家が暴れれば死者は七、八桁)。B: 国家権力の濫用可能性(無能、邪悪な人間が国家権力を行使する場合が常にありうる)。

神様に政治をお願いできない以上、この映像の前提で考えるしかない。

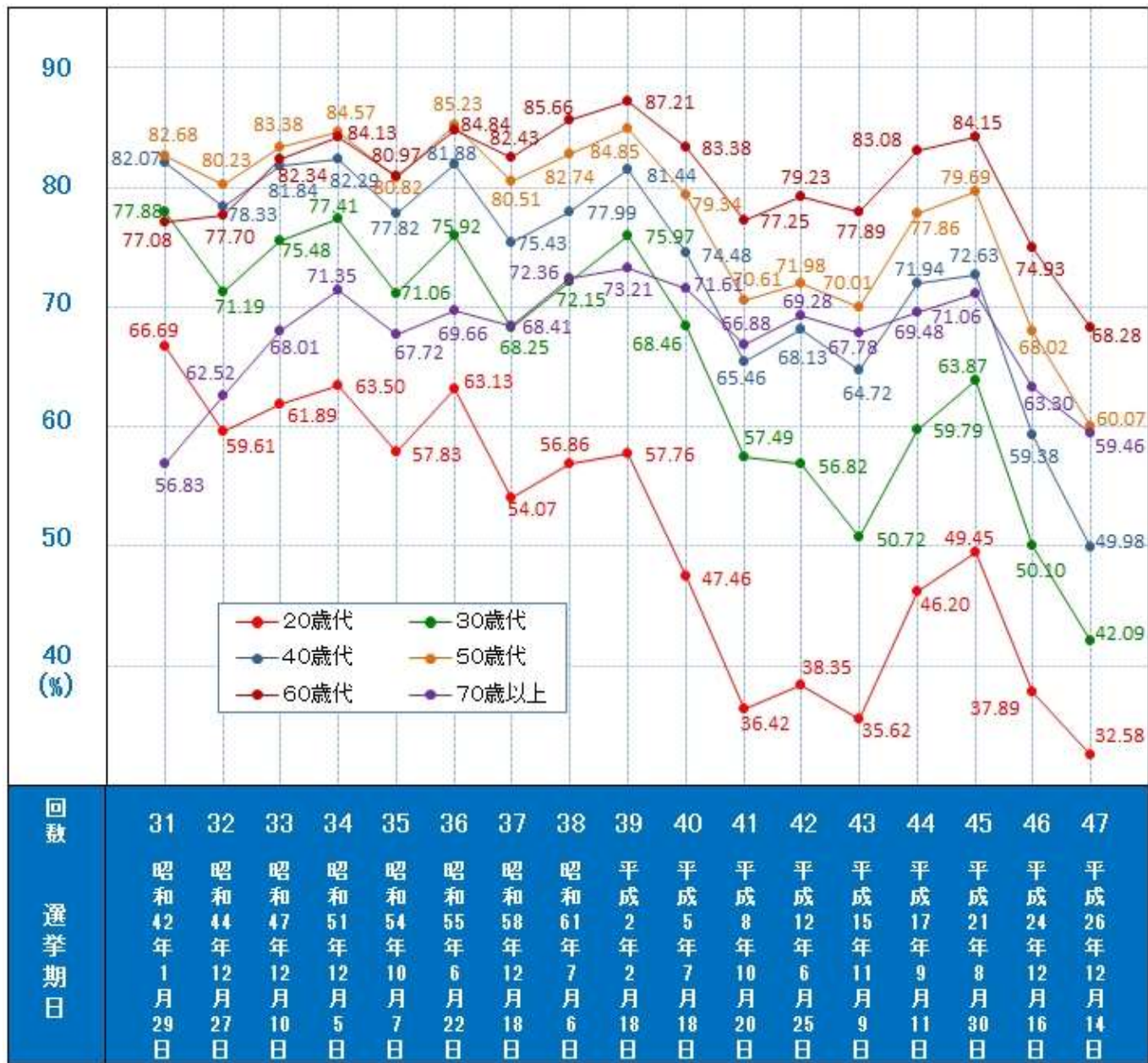
＝強大国家権力性悪観

→どうするか: ①悪い政府は変える、②政府の行動を縛る

→①悪い政府は変える＝民主主義

選挙で平和的に容易に政権交代できる(独裁国家では暗殺や革命しかない)。そのためには賢明な有権者、報道の自由・知る権利が必須。

→いま危機。低投票率。メディアが衰退(報道の自由度世界72位)。知る権利を奪う秘密保護法。そして今、共謀罪。



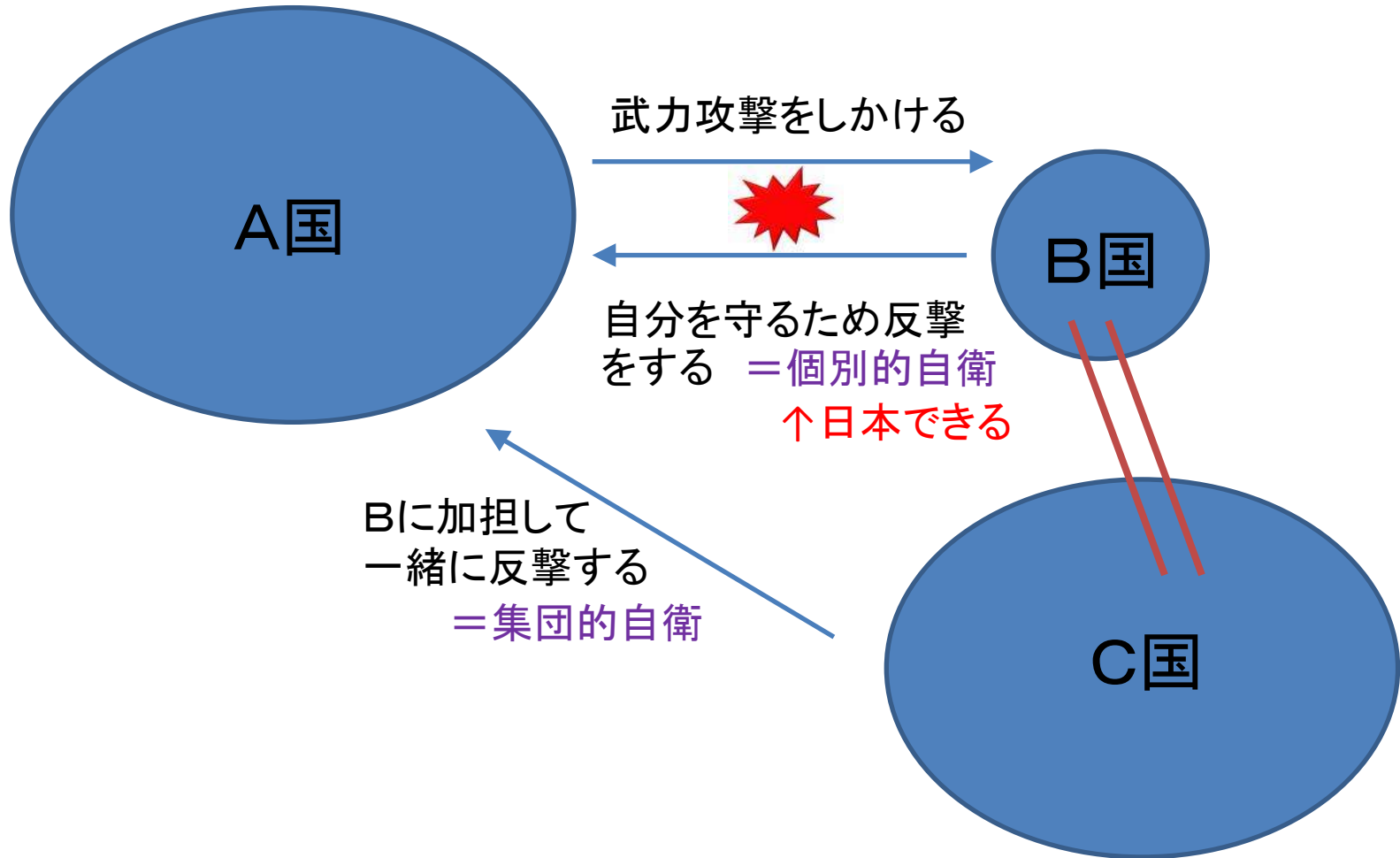
国政選挙における年代別投票率(2014年は全体では52.66%＝過去最低)

→②政府の行動を縛る＝憲法

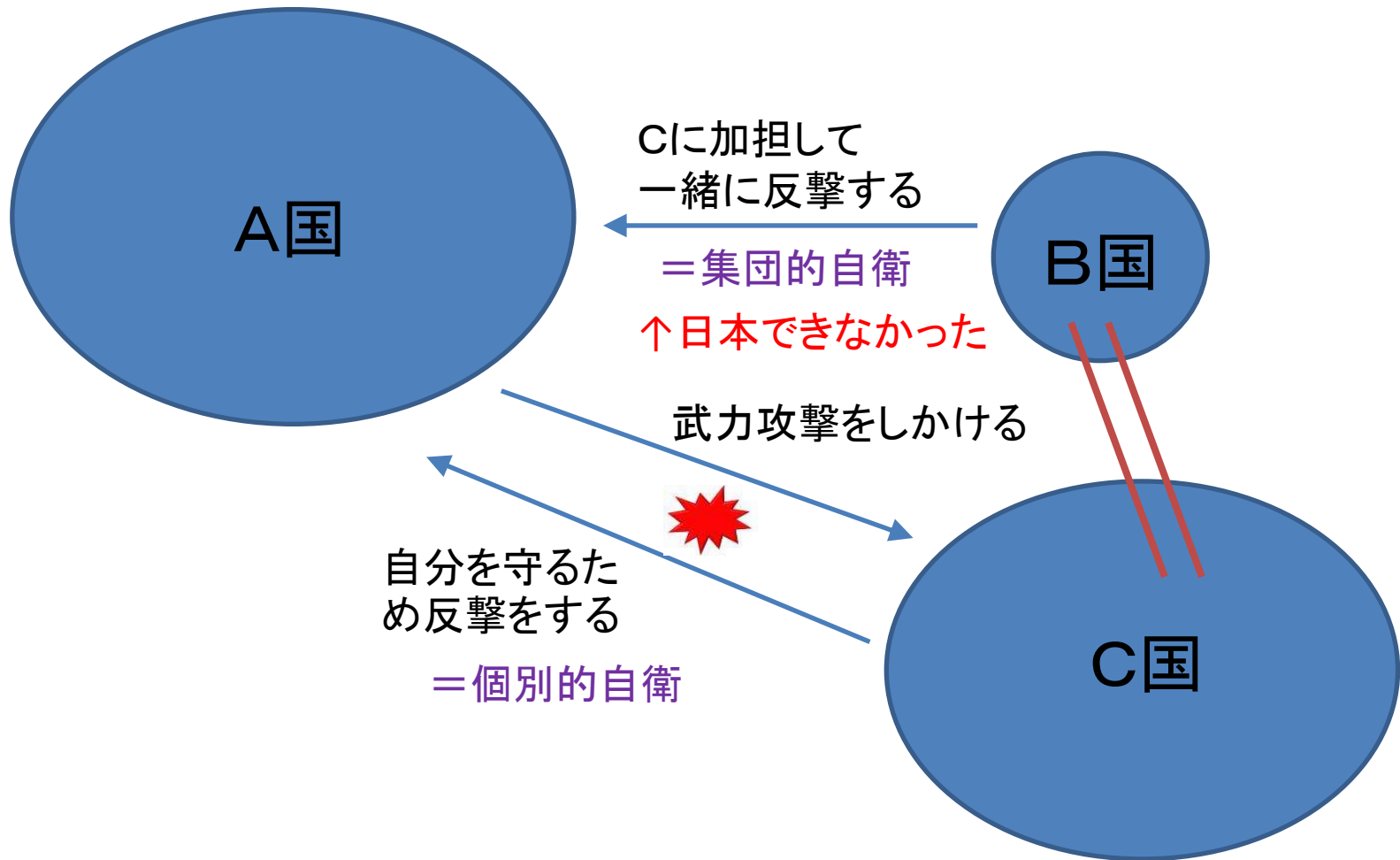
国家権力は「猛獣」。ほっつき歩いて市民を襲わないように「檻」に入れて生かしておく。この檻が憲法。つまり、政府や国家の行動を縛る規制・ルールのこと。この仕組みが立憲主義。

→いま危機。政府は安保法制で憲法（立憲主義）を軽視。政府でなく国民を規制する自民党改憲案。

集団的自衛(権)って？ (パターンA)



集团的自衛(権)って？ (パターンB)



安倍政権のしたことの意味

これまでの政府の憲法解釈

＝個別的自衛権(日本自身が攻められたとき反撃できる)のみできる

＝集団的自衛権(他国が攻められたとき、他国と一緒にになって反撃に加わる)は**できない**

安倍内閣の憲法解釈

＝集団的自衛権も**できる**

－内閣が憲法の縛りをほどく**(できないものをできる)**

→猛獣自身が檻を壊すこと

→立憲主義の否定

まとめ

問1 「政治リテラシー」の獲得に必要な前提の認識とはなにか

答 強大国家権力性悪観

問2 最もひどい人災はどのようにしてもたらされるのか(加害の主体は何か)

答 国家が加害者となり国家権力によってもたらされる人災

問3 市民がひどい被害にあわないためには、どうすればよいか

答 民主主義(政府を変える)と立憲主義(政府を縛る)の仕組みの確立・維持

強大国家権力性悪観 → 政治リ
テラシーの獲得 → ゆで上がっ
てきている日本の現状への認識
と行動 → 危機の回避？

- 期末レポート課題として、「共謀罪」について出題しますから、今から調べておいてください。

今日の宿題

- 授業へのコメントをmanabaで送信（月曜17時まで）。
- 前回の小テストの解答と解説を確認。
 - 疑問や質問があれば授業コメントに書く。
- 前回（5/12）の「学生による授業へのコメントと教員の応答」を読んでおく。
- 平井先生の事前課題を提出する（月曜17時までに、印刷して学務係前のボックスに）